

ちょうごだいいちこうえん  
**長後第一公園**

所在地・・・神奈川県藤沢市高倉槐戸498番2

面積・・・2,500㎡の一部(1/3程度)

実施主体・・・藤沢市まちづくり推進部まちづくりみどり推進課

問合せ先・・・【住所】神奈川県藤沢市朝日町1-1  
【TEL】0466-50-3535



長後第一公園

対象地の概要・・・供用されている公園の一部をビオトープ整備した本公園は、木陰が多く大きなすべり台やサブグラウンドがある。ボール遊びができ小さい子が集まっている。愛称として「さいかち公園」と呼ばれている。

事業への取組みのきっかけ

藤沢市は、ビオトープネットワーク基本計画に基づく取組みの一環として、創出型(市街地)ビオトープネットワークエリア6エリアのうちの1つであり、そのエリア内の公園緑地において毎年1箇所づつ整備を実施しており、また、公園愛護会の活動が活発なため、施設のパトロールの実施などについて理解を得やすいと考えたため整備を進めた。

整備の概要

整備実施期間・・・平成20年度(2008年度)

①「昆虫類に配慮した空間形成」に向けた整備手法

Step1: 愛護会(役員)とワークショップを実施(3回)

供用開始している公園のため、できる限り普段の利用を妨げない整備とした。また、隣接住宅への整備内容の説明を行った。

Step2: 昆虫等と呼ぶ樹種の選定・植栽

開設から30年超経過しており、供用された典型的な街区公園のため、サンゴジュなど鬱蒼とした樹木を伐採し、代わりに昆虫等と呼ぶクヌギ、ナツミカン、ブツレア等を植栽した。

Step3: 園内の樹木を利用した生物の住処の整備

成長したケヤキの剪定を行いその剪定枝を利用し、生物の住処となる仕掛けを設置し、現場に合わせ図化した普及啓発看板を設置した。

② 整備時の協働者との関わり ⇒自然生態専門員(非常勤職員)、市民センター職員

生物調査にあたっては、愛護会との調整を行った

③ 整備時の留意点

\* 供用されている公園のため、通常利用を妨げないこととした。

\* 生物への配慮について、特記仕様書を作成し施工業者に遵守させた。



園内に繁茂していたサンゴジュ



園内に繁茂していたセイヨウバクチ



昆虫等と呼ぶナツミカン

維持管理の概要

④「昆虫類に配慮した空間形成」に向けた維持管理内容

園内に植栽したクヌギ、ナツミカン等の管理を行っている。

⑤ 維持管理時の協働者との関わり ⇒公園愛護会

従前の愛護会活動の中で、施設のパトロール、清掃等を行っている。

⑥ 維持管理時の留意点

\* 公園清掃時にかき集めた落ち葉は、ビオトープ内の腐葉土積み置き場にストックしている。



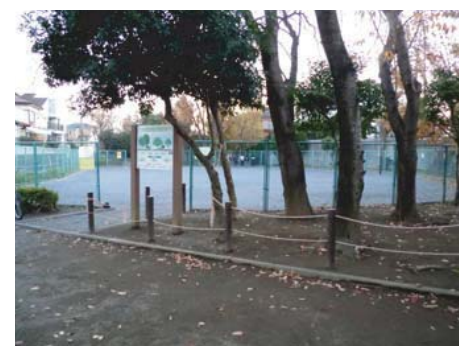
ケヤキの剪定の様子



ケヤキの剪定枝を利用した生物の住処



蛇籠



園内の様子



園内のビオトープの案内板

事業効果

●クワガタの生息が確認できた。

●ビオトープ整備にあたり、サンゴジュ等の常緑の鬱蒼とした樹木をナツミカン等昆虫を呼ぶ樹木に更新するといったリニューアルを行うことにより、荒廃化した感じを与えない整備手法が、市民の理解を得ている。

備考